

# 発注企業動向調査結果

-2015.2-

■調査時点 平成26年12月調査(平成26年12月末時点)

■対象企業 150社

■調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)

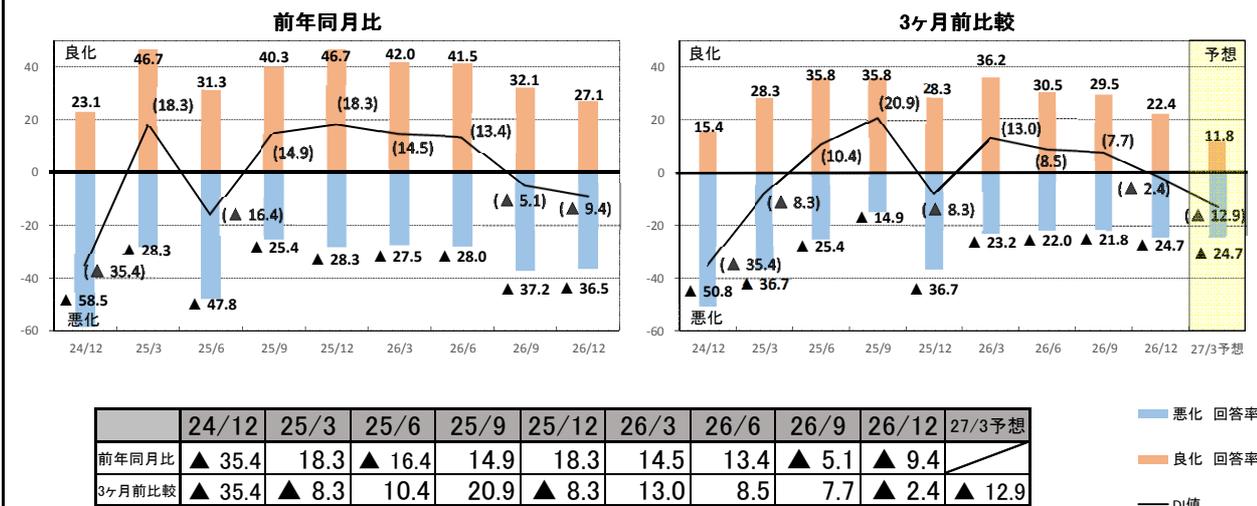
■回答企業 85社(回答率:56.67%)

## <業種内訳>

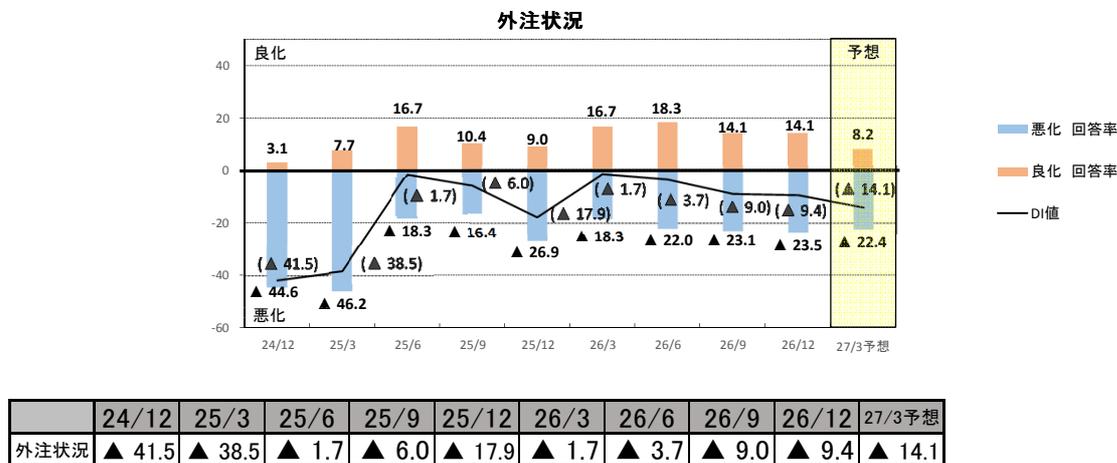
プラスチック	12社
鉄鋼・非鉄	8社
金属製品	8社
一般機械器具	14社
電気機器	18社
輸送用機器	16社
精密機器	4社
縫製	5社
計	85社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

## ●生産高



## ●外注状況



## ●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは(▲9.4)で前回(▲5.1)から4.3ポイント減の悪化となった。
- ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは(▲2.4)で前回(7.7)から10.1ポイント減の大幅悪化となった。
- ・外注状況は(▲9.4)で前回(▲9.0)から0.4ポイント減でほぼ横ばいとなった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が(▲12.9)で10.5ポイント減で大幅悪化、外注状況が(▲14.1)で4.7ポイント減の悪化となった。
- ・消費税増税から9ヶ月経つが未だに影響が残っており、また、円安による原材料の高騰も重なり、生産高は大幅な悪化が予想されている。
- ・外注状況については海外での現地調達・現地生産の流れに加えて、発注企業の内製化の動きもあり、徐々に悪化していく傾向にある。人材不足という声も多く挙がっている。